

学校だより



ひかり

平成31年1月7日発行
第26号
伊豆市立修善寺東小学校
TEL0558-72-0420

◆学校教育目標「よく学ぶたくましく心やさしい東っ子」◆重点目標「一人で挑戦！みんなで挑戦！」

「感謝と感動」のあふれる3学期に！

あけましておめでとうございます。保護者、地域の皆様には、穏やかな新春をお迎えのこととお喜び申し上げます。今年は亥年、目標に向かってまっすぐ進み、さらなる成長を遂げる1年となるよう、教職員一同、力を合わせて教育活動の充実に取り組んでいきます。本年もどうぞよろしく願いいたします。



さて、本日より東小学校の3学期がスタートしました。16日間の冬休みを元気に過ごし、家族の温かさをたっぷり味わった子どもたちが、学校に戻ってきました。3学期は51日間とたいへん短いですが、本

年度のまとめをするとともに新しい学年の準備をする大切な学期です。東っ子学習発表会、6年生を送る会、卒業式など、1年間の学びの成果を伝える場もたくさんあります。子どもたち一人一人が、目標に向かって全力で取り組み、この1年の確かな成長を実感できるよう、また、皆で協力して高め合い、感動を共有することができるよう、励ましながら進めていきます。そして、成長を支えてくれたすべての人や物に感謝しながら、一日一日を大切に過ごしていきます。3学期も、これまでと変わらぬご支援、ご協力をよろしく願いいたします。

「一人で挑戦！みんなで挑戦！」のさらなるレベルアップを！

ご協力いただいた「学校評価アンケート」の結果を、2学期末に配布させていただきましたが、重点目標「一人で挑戦！みんなで挑戦！」に関わる項目についての達成率をお知らせします。

◆ 学校評価アンケート結果より(%) ◆

「難しいと思えることにも失敗を恐れずに挑戦している」については、「よくあてはまる」「まあまああてはまる」を合わせた肯定的な評価が、児童は88.5%、保護者は75%という結果となりました。学校では、ま

内容項目	対象	よくあてはまる	まあまああてはまる	あてはまらない	全くあてはまらない
失敗を恐れずに挑戦	児童	40.4	48.1	10.6	1.0
	保護者	25.0	50.0	23.1	1.9
協力し進んで取り組む	児童	72.1	22.1	5.8	0
	保護者	61.5	36.5	1.9	0

ずやってみること、結果だけでなく努力の過程をこそ大切にしたい指導を繰り返してきましたが、まだまだ失敗を恐れて挑戦することを躊躇してしまう子どもたちの実態がうかがえます。保護者の皆様の評価は児童よりさらに厳しいのですが、より高いレベルを目指しての評価であり、期待の表れでもあると捉えています。しかし、児童・保護者とも1学期末の結果より向上してきており、課題である「自己肯定感」も少しずつ高まってきているなど、確実によい方向に向かっていることが読み取れました。勇気をもって主体的に取り組み、あきらめず

に努力することの素晴らしさに気付き、自分のよきを実感できるよう3学期も継続して働き掛けていきます。また、「行事や委員会、係活動などに仲間と協力し、進んで取り組んでいる」については、児童・保護者ともに「よくあてはまる」「あてはまる」の合計が90%を超えました。「全くあてはまらない」と答えた児童がいなかったことから、子どもたちなりに重点目標を意識してみんなで協力しながら挑戦することができたといえそうです。

なお、「東っ子5つの挑戦」についての子どもたちの振り返りは、3段階評価で、「挨拶」「言葉遣い」「週末読書」は金、「黙働」は銀、「全員発表」は銅でした。3学期も、「挑戦」あるのみです。新たな学年に向け、自分を磨き、みんなで高め合い、レベルアップを図る学期という意識で取り組んでいきます。東っ子のあくなき挑戦を応援してください。

「暗唱名人」への挑戦もラストスパートです！

今年度は「暗唱名人」として、6つの詩（「おがわのはる」「ひよこがうまれた」「こわれたすいどう」「えらいこっちゃん」「雲の上の青い空」「一個の人間」）の暗唱に挑戦しています。1級の「一個の人間」は、長文に加え内容も深く、難しい詩です。それでも、詩のリズムや語感を味わいながら、一個の人間としての尊厳を大切に生きる生き方について、子どもたちなりに何か心に響くものがあるかと思っています。そして、まさに学校は、一人一人が自分らしく輝くところ、一人の人間として大切にされるところであり、友達もまたその個性が認められて尊重され、互いに切磋琢磨して高め合うところでありたいと思います。

実は、6月27日の時点で、ひらがな学習が始まって間もない1年生が、この1級の詩の暗唱を全員クリアしています。一人一人が、誰かにもたれかかることなく、自立した「一個の人間」として、堂々と暗唱する姿を見せてくれました。



全員が合格するまでに、きっと励まし合い、支え合ってきたのだと思います。「独立人同志が 愛しあい、尊敬しあい、力をあわせる。それは実に美しいことだ。」の一節のとおり、13人の姿がその声とともに、美しく輝いて見えたことをはっきりと覚えています。子どもたちの無限の可能性を感じたひとこまです。

一個の人間

自分は一個人間でありたい。
誰にも利用されたくない。
誰にも頭をさげたくない。
一個の人間でありたい。
他人を利用したり。
他人をいびついたりしない。
そのかわり自分もいびつにされない。
一個の人間でありたい。

自分の最も深い泉から
最も新鮮な
生命の泉をくみとる。
一個の人間でありたい。

誰もが見て
これこそ人間だと思おう
一個の人間でありたい。
一個の人間は
一個の人間でいいのではないか
一個の人間

独立人同志が
愛しあい、尊敬しあい、力をあわせる。
それは実に美しいことだ。
だが他人を利用して得をしようとするものは、
いかに醜いか。
その醜さを本当に知るものが一個の人間。

武者小路実篤

2月までには全校児童が1級をクリアし、東っ子学習発表会では、105名全員による全校群読に挑戦します。6年間で様々な詩と出会い、心に刻んで巣立っていく子どもたち。大人になって、覚えた詩の一節が東小や故郷を思い出すきっかけとなるかもしれませぬね。